

全日本実業柔道団体対抗大会報告書

旭化成が3年連続10度目

女子はミキハウス6年ぶり7度目

厚生労働大臣杯争奪第54回全日本実業柔道団体対抗大会は、5月29日(土)、30日(日)の両日、平成19年の国体の会場となる秋田県立武道館の落成記念大会として秋田市で開催された。

参加チームは男子87、女子14の計101チーム。アテネオリンピック代表選手も顔を見せて8試合場の大会は大変な賑わいとなった。秋田県では1987(昭和62)年に第37回大会が開催されて以来、17年ぶり2度目の挙行となった。

開会式では年間優秀選手の表彰があり、永野重雄杯が2003年世界柔道選手権大



開会式であいさつする阿南惟正 副会長



開会式で歓迎のあいさつをする寺田典城 秋田県知事



選手宣誓をする繁昌久哲選手(旭化成)

会100kg級優勝・平成15年度全日本柔道選手権大会優勝の井上康生5段(総合警備保障)と、同無差別級優勝・同準優勝の鈴木桂治5段(平成管財)に送られた。また、宮崎輝杯は同世界柔道選手権大会48kg級優勝の谷亮子4段(トヨタ自動車)と、同じく70kg級優勝の上野雅恵4段(三井住友海上)が受賞した。

また、特別功労賞(20回出場)、功労賞(15回出場)の表彰も行われた。(別記)初日は男子第三部で峰コーポレーションが地元秋田県警察を3-2で退け初出場初優勝を飾った。

女子第一部はセコムが加わり4年ぶりに5チームでのリーグ戦となったが、ミキハウス、コマツ、三井住友海上がともに3勝

1敗の激戦の中、負け数差・内容差により、ミキハウスが6年ぶり7度目の優勝を飾った。

最終日は男子第一部で旭化成Aが日本中央競馬会を3-2の接戦で制し、3年連続10度目の優勝を果たした。

男子第二部は京葉ガスが無失点で決勝へ進み、セコムにも5-0と完勝。17年前、秋田大会で優勝して以来、3回目の優勝を飾った。

女子第二部は松前柔道クラブが関西医療学園付属整骨院に3-0で勝ち、2連覇を達成した。



開会式

来年度の大会は、1964(昭和39)年に旧富士製鉄体育館で開催された第9回大会から40年ぶり2度目の姫路市での開催となる。兵庫県としては5年ぶり8度目の開催。

男子 第一部

旭化成 チーム一丸で 3連覇達成10度目V

準決勝、旭化成対新日鐵、伝統を誇る両チームの戦いは3-1で旭化成が決勝戦進出。対するは準決勝で了徳寺学園に1-0の内容差、劇的な逆転勝利の末決勝戦に進んだ日本中央競馬会。

先鋒、高橋、大下共に「指導」のあと、今大会絶好調の高橋が積極的に責め続けた。組み際、高橋が放った大外刈りが鮮やかに決まり、旭化成幸先の良い勝ち点を上げる。



高橋の大外刈がきれいに決まる

次鋒、松山对本郷。巨漢松山が前に出るのがなかなか技が出ない。両者に「指導」。その後も両者に「指導2」。緊迫した空気の中で、前に出る松山に対し本郷が右内股をうまくあわせると見事に決まりポイントが並んだ。

中堅、中村対向川。激しい組み手争いに両者「指導」。向川奥襟を取りに前に出る。中村が切つては離れ巧みに勝機を伺うが、中村のみに「指導2」。その後も両者「指導」が累積される。後がなくなった中村ではあるが、積極的な攻撃が見られない。さらに両者「指導」、最終的に中村の反則負け。JRAが2-1でリードする。

続く副将戦は中堅戦の逆の展開となった。両者「指導」のあと、旭化成主将の繁昌は



胴上げされる中村監督

右奥襟をとって前に出る。谷口左内股で応戦するも「指導2」が与えられる。ポイントでリードされた谷口はタイミングを伺うが、なかなか決め手となる技が出ない。両者けん制のしあい。結局その後も両者に「指導」が累積され、谷口の反則負け。ここで決めたかったJRAは痛い失点。旭化成同点に追いついた。

大将戦、斉藤右組対猿渡左組のケンカ4つ。両者「指導2」まで、組み手争いに終始する。共にポイントにつながるような攻撃が見えず終盤にさしかかる。このまま代表戦での決着かと思われた。



第一部優勝の旭化成チーム

しかし、残り45秒、前に出る斉藤に対し、不注意に下がった猿渡に「場外指導」。劇的な勝利で勝ち上がったきたJRAは夢かなわず涙を飲んだ。

中堅、副将戦と歯がゆい試合が続いていただけになんともあつけない幕切れとなった。

旭化成は今大会、主力選手を欠いていたが、中村監督自ら出場し、チームワークで勝ち取った嬉しい3連覇達成である。

■優勝監督コメント

旭化成 中村佳央

今回の優勝は去年以上にうれしい。今回は怪我のため窪田と村元を欠いていた。松山も足首を怪我していたため本調子ではなく、厳しい試合になることは予想していた。練習量ならどこにも負けない自信と、全員の何としても勝ちたいというチームワークで苦しい試合を乗り切れた。自分もフル出場し、選手に刺激を与えられればと、気持ちだけで戦った。

今日は優勝できたし、オリンピックには3名出場するので本当に嬉しい。これからも気を引き締めて抜かりないよう日々努力していきたい。

これからは、監督に専念して、選手の育成に力を入れていくため、今日で現役は引退する。

男子第一部成績表

優勝 旭化成 A
準優勝 日本中央競馬会
第3位 新日本製鐵
第3位 了徳寺学園



九州電力、綜合警備保障B、セコム、旭化成Bの4チームは次年度第二部に降格する

平成15年度 年間優秀選手

[永野重雄杯] 井上 康生 (綜合警備保障)
鈴木 桂治 (平成管財)
[宮崎 輝杯] 谷 亮子 (トヨタ自動車)
上野 雅恵 (三井住友海上火災保険)

特別功労賞 (20 回出場)

佐藤美智也 (王子製紙)
高橋 竜二 (三洋電機)
相馬 昌平 (東 芝)

功 勞 賞 (15 回出場)

岡本 晃 (トヨタ自動車)
中川 久幸 (トヨタ自動車)

【準 決 勝】

第1試合

旭化成 A 3-1 新日本製鐵
⊖中村佳央 5段 優勢勝ち 落合幸治 3段
繁昌久哲 5段 両者反則負け 二村 学 4段
○高橋宏明 4段 大外刈 出口健三 4段
松山 毅 4段 合わせ技 永井亮平 4段○
⊖齋藤制剛 4段 隅 返 高橋徳三 4段

第2試合

了徳寺学園 1-① 日本中央競馬会
廣川充志 3段 —×— 谷口繁晴 3段
飛塚雅俊 4段 —×— 本郷匡道 3段
大村昌弘 3段 両者反則負け 向川 肇 3段
⊖有川光誠 4段 内股透 藤本博史 4段
軒沢優太 3段 崩上四方固 猿渡琢海 3段○

【決 勝】

旭化成 A 3-2 日本中央競馬会
○高橋宏明 4段 大外刈 大下大介 4段
松山 毅 4段 内 股 本郷匡道 3段○
中村佳央 4段 反則勝ち 向川 肇 3段○
○繁昌久哲 5段 反則勝ち 谷口繁晴 3段
⊖齋藤制剛 4段 優勢勝ち 猿渡琢海 3段

優 秀 選 手

〔女子〕		〔男子〕	
第二部	第一部	第三部	第二部
江口 啓 ()	寺山 茜 (松前柔道クラブ)	渡邊美奈 (コマツ)	薪谷 翠 (ミキハウス)
		川井 巧 (秋田県警察)	松崎佑輔 ()
		保立 勝 (峰コーポレーション)	松前 豊 (セコム)
		市川裕治 ()	中濱真吾 (京葉ガス)
		向川 肇 (日本中央競馬会)	齋藤制剛 ()
		高橋宏明 (旭化成A)	高橋宏明 (旭化成A)
		永井亮平 (新日本製鐵)	永井亮平 (新日本製鐵)
		有川光誠 (了徳寺学園)	有川光誠 (了徳寺学園)
		織茂道夫 (東京消防庁)	織茂道夫 (東京消防庁)
		山下明善 (東レ・滋賀)	山下明善 (東レ・滋賀)
		藤原弘幸 (県南柔友会A)	藤原弘幸 (県南柔友会A)
		三熊裕也 (東日本旅客鉄道A)	三熊裕也 (東日本旅客鉄道A)
		上野順恵 (三井住友海上火災保険)	上野順恵 (三井住友海上火災保険)
		松本貴子 (関西医療学園附属整骨院)	松本貴子 (関西医療学園附属整骨院)

男子 第二部

京葉ガスが無失点で制す

第一部復帰を目標に一致団結

第二部は25チームがエントリー。決勝戦は無失点で勝ちあがってきた京葉ガス。対するは失点1で勝ち上がったセコムとの対戦となった。

先鋒、草刈対松原。草刈が先に谷落しを仕掛け、「効果」を奪う。松原も挽回せんと、巴投げなどで果敢に責め続けるがポイントに繋がらず逃げ切られる。

次鋒戦、中濱の足技が冴えていた。出足払いで「効果」を奪うと、竹田は袖釣り込み腰、巴投げなど反撃に出るが、中濱冷静に防ぐ。両者組み合わせ場外線で横移動。中濱のタイミングの良い支え釣り込み足が見事に決まり「一本」。京葉ガス2-0とリードする。

中堅戦。新鋭市川は、落合に開始早々大内刈りで「有効」ポイントを先制される。ここからの市川の反撃は早く、小外掛けで倒し「技有」。そのままがちり横四方固めで「技有」合技。この瞬間京葉ガスの17年ぶり嬉しい優勝が決まる。

副将戦は23歳の新鋭古賀対ベテラン丸山。攻防に見るべきものがなく双方「指導3」となる。両者後がない。丸山チャンスとばかりに内股に入るが、古賀にうまくかわされ、内股透かしが決まる。「技有」総合勝ち。

大将、山岸対笠原の対戦。笠原は右半身

に構え山岸の胴をつかみ、右小外に深く飛びついたところを山岸が前に出て払い腰「一本」。京葉ガス5戦完勝で第一部復帰を飾る。

優勝監督コメント

京葉ガス 山岸裕二

このメンバーなら絶対いけると狙っていたし、一戦一戦選手同士で相談して戦った。合宿もこなし、第一部に戻る事を目標に一致団結できてとてもいいムードで大会に臨めた。先鋒が流れを作れた事が優勝に繋がったと思う。

秋田は過去にV2した土地でもあり、ゲンがいいと張り切ったのも勝因かもしれない。(笑)



第二部優勝の京葉ガスチーム

【決勝】

- 京葉ガス 5-0 セコム
- ◎草刈基明 3段 谷落松原 豊 3段
 - 中濱真吾 4段 支釣込足 竹田 寛 3段
 - 市川裕治 3段 合わせ技 落合雄太 3段
 - 古賀崇裕 3段 総合勝ち 丸山昌孝 4段
 - 山岸裕二 5段 払腰 笠原丈孝 3段

男子第二部成績表

優勝 京葉ガス 第3位 東京消防庁
準優勝 セコム 第3位 東レ・滋賀

以上の4チームは次年度第一部に昇格する



古賀、内股透かしで総合勝ち

男子 第三部

峰コーポレーション初出場V

エントリリー50チームのうち、地元特別参加が11チーム。決勝戦は初出場の峰コーポレーション対地元秋田県警察との対戦となった。

先鋒、加藤が右内股、小内刈り、愛澤がもろ手刈り、肩車と低く責め両者の攻防が続く。加藤が放った小内刈りが「有効」となり秋田県警察先制ポイント。

次鋒戦、先に保立(勝)が左大内刈りで「有効」をとる。関、挽回せんと果敢に責めるが、保立の裏投げに「一本」取られる。これで1-1

中堅戦、組んで直ぐに保立(淳)は堀井から右小内刈りで「効果」をとる。その後組み手争いが繰り返され、両者「指導3」まで累積される。堀井は大内刈りで反撃するが時間切れ。峰コーポレーション2-1でリード。

副将戦は川井が右内股で攻めると、水口は谷落しなどで応戦する。水口はやや変則気味の防衛だが、互いに組み合わず両者「指導3」まで追い込まれる。最後は積極的な攻めが見られない水口に「反則負け」が宣告。2-2だが内容差で秋田県警察が一步リード。大将戦は引き分けでも県警の勝ち。俄然地元の応援も盛り上がる。

大将戦、背水の陣となった松崎は右内股、一本背負いで猛攻。これに対し袴田も冷静に応戦するが、足払いを返され潰されてしまう。そのまま後ろ袈裟固め「二本」。峰コーポレーションが初優勝となる。

優勝監督コメント

峰コーポレーション 水口清吾

4月に入社したメンバーが柔道をやっていたのでチームを結成。西日本実業団体対抗大会では準決勝で総合警備保障に2-1で負けたが、今日は優勝できて嬉しい。



後袈裟固で逆転優勝を決めた松崎



第三部優勝の峰コーポレーションチーム

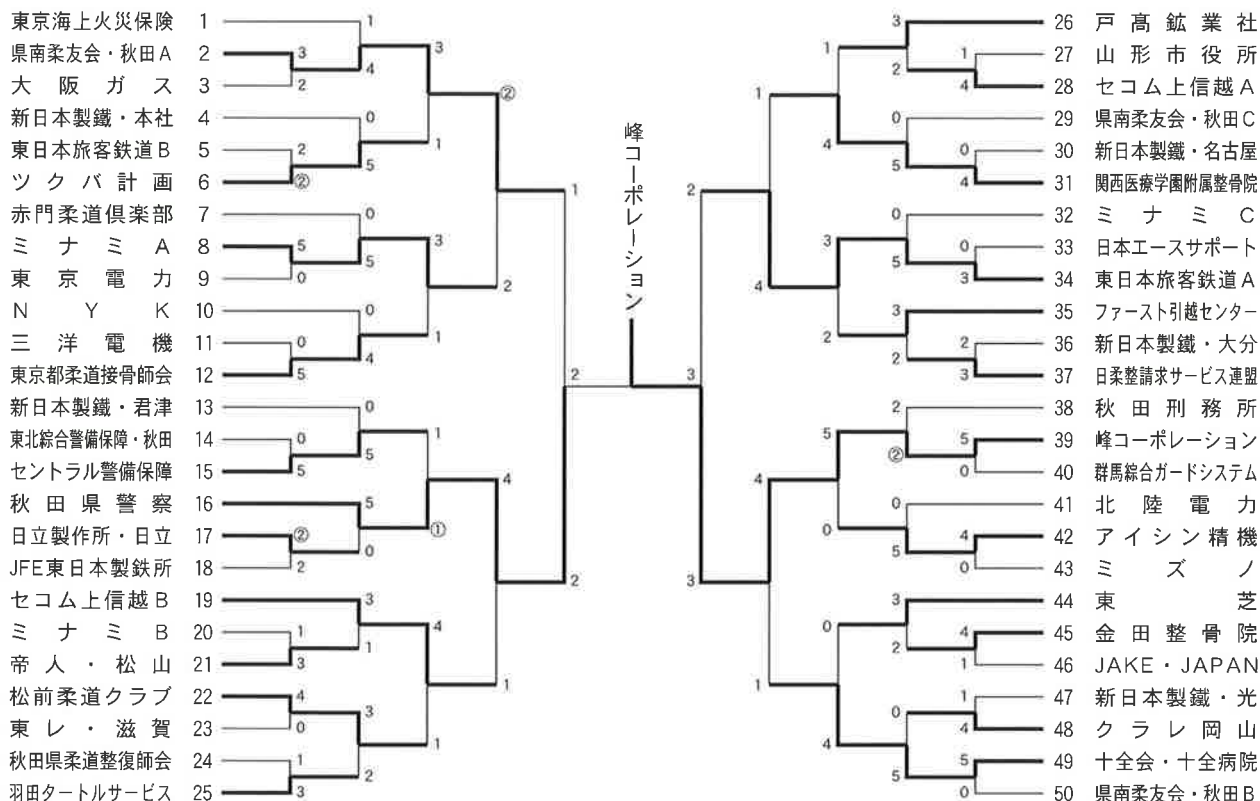
【決 勝】

- | | | |
|-------|-----|---------------|
| 秋田県警察 | 2-3 | 峰コーポレーション |
| ◎加藤大輔 | 3段 | 小内刈 愛澤 匡 2段 |
| 関知範 | 3段 | 裏投 保立 勝 3段◎ |
| 堀井 誠 | 3段 | 小内刈 保立 淳 2段◎ |
| ○川井 巧 | 4段 | 反則勝ち 水口清吾 3段 |
| 袴田祐樹 | 4段 | 後袈裟固 松崎祐輔 3段◎ |

男子第三部成績表

優勝 峰コーポレーション 第3位 県南柔友会・秋田A
準優勝 秋田県警察 第3位 東日本旅客鉄道A

峰コーポレーション、東日本旅客鉄道Aの2チームは次年度第二部に昇格する



女子第一部

ミキハウス6年ぶり7度目 コマツ、三井住友海上の3強が激戦

リーグ戦で行われた女子第一部は、途中経過も一体どの試合が優勝戦になるのか判断できないほど最後の最後まで優勝の行方が混沌としていた。

コマツ ②-2 三井住友海上

先鋒吉成対岩藤。両者指導のあと、岩藤小外刈り「効果」をとる。次鋒宝は茂木に対し朽木倒し「効果」、体落し「有効」と連発。茂木反撃にでるが時間切れ。中堅、新鋭の渡辺は徳久に対し背負い投げで「有効」。副将谷本对上野(順)は両者「指導」の後、上野の体落し「効果」となる。大将戦、内容差でリードしているコマツの松崎対、何とか挽回したい貝山だが、両者ポイントに繋がる技がでず引き分け。

ミキハウス 2-0 コマツ

先鋒、次鋒とも引き分け。続く中堅戦、古賀が組織に谷本(育)から出足払い「効果」をとりそのまま逃げ切る。副将、元世界女王前田は最年少18歳の渡辺と対戦。激しい攻防が続くが決めてがなく引き分け。大将戦、完全復調したと見える薪谷は松崎を見事な小外刈りで「一本」。

三井住友海上 3-1 ミキハウス
先鋒岩藤が鍛冶を大外刈りで「二本」。

次鋒横澤は藤原に指導勝ち。中堅徳久対前田は両者「指導」のあと果敢に攻めあうが引き分け。副将上野(順)は古賀を大外落しで「有効」をとる。大将戦、貝山は安定し

た試合内容の薪谷に内股「一本」取られる。3チームの戦力が横一戦で、3勝1敗で並んだ最終結果は負数差1、一本勝ち差1で順位が決まった。ミキハウス6年ぶりの優勝に喜びをかみ締めた。

アテネオリンピック代表のうち、唯一出場した横澤由貴(三井住友海上)は4試合のうち、3試合に出場し勝ち点を上げた。

優勝監督コメント

ミキハウス 日蔭暢年

これまでは選手がそれぞれに適した場所での練習を認めてきた。それを本社スタジオに集合させて練習を積んできたので、チームのムードが良かった。団体戦の難しさは1点取られたら2点取り返さなければならぬところ。必ず最後に薪谷がとってくれるという安心感も加わり、団結できた事が最大の勝因。就任して初めての優勝で嬉しい。



豪快な内股を決める薪谷



女子第一部優勝のミキハウスクラス

【主な対戦結果】

コマツ ②-2 三井住友海上
吉成麗子 3段 小外刈 岩藤理恵 初段◎
◎宝 寿栄 2段 体落 茂木仙子 2段
◎渡邊美奈 初段 背負投 徳久 瞳 初段
谷本育実 2段 体落 上野順恵 初段◎
松崎みずほ 2段 —×— 貝山仁美 3段

ミキハウス 2-0 コマツ
鍛冶宏美 3段 —×— 吉成麗子 3段
藤原知代 3段 —×— 宝 寿栄 2段
古賀幸恵 2段 出足払 谷本育実 2段
前田桂子 3段 —×— 渡邊美奈 初段
◎薪谷 翠 3段 小外刈 松崎みずほ 2段

三井住友海上 3-1 ミキハウス
◎岩藤理恵 初段 大外刈 鍛冶宏美 3段
◎横澤由貴 2段 優勢勝ち 藤原知代 3段
徳久 瞳 初段 —×— 前田桂子 3段
◎上野順恵 初段 大外落 古賀幸恵 2段
貝山仁美 3段 内股 薪谷 翠 3段◎

女子第一部成績表 (リーグ戦)

	ダイコロ	三井住友海上	コマツ	セコム	ミキハウス	勝 負 0勝0敗0分	順 位
ダイコロ	△	△	○	△	1勝3敗	4	
三井住友海上	○	△	○	○	3勝1敗	3	
コマツ	○	○	△	○	3勝1敗	2	
セコム	△	△	△	△	0勝4敗	5	
ミキハウス	○	△	○	○	3勝1敗	1	

女子第二部

松前柔道クラブが2連覇達成

エントリーは9チーム。決勝戦は1回戦2回戦と危なげない試合内容で勝ち進んできた、昨年の覇者松前柔道クラブ。対するは準決勝戦でにしけいを内容差で破った関西医療学園付属整骨院。

先鋒、小寺澤は得意の袖釣り込腰を連発し合わせ技で一本勝ち。

中堅寺山も木村を上四方固でがっちり抑え「一本」。

大将江口は右内股でゆっくりと弧を描くように室谷を赤畳に沈め、松前柔道クラブ完勝で嬉しい2連覇達成。

優勝監督コメント

松前柔道クラブ 中條依久雄

各自が持てる力を発揮したのが2連覇の要因。今は部員が3〜4人だがいずれは第一部へ出場してみたい。



女子第二部優勝の松前柔道クラブチーム



小寺澤の袖釣り込み腰合わせて一本

女子第三部成績表

優勝 松前柔道クラブ 第3位 日水製薬
準優勝 関西医療学園付属整骨院 第3位 にしけい

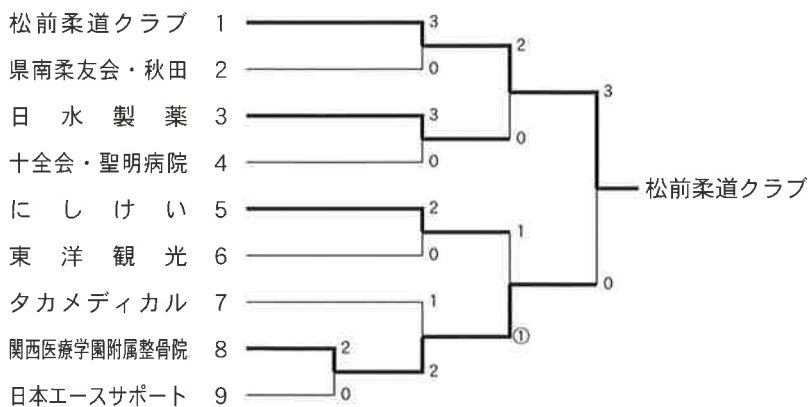
【準決勝】

松前柔道クラブ 2 - 0 日水製薬
小寺澤佳奈 2段 —×— 三浦真依 3段
○寺山 茜 2段 合わせ技 東野妙利 2段
○江口 啓 2段 優勢勝ち 益子里美 2段

にしけい 1 - ① 関西医療学園付属整骨院
児玉久美 2段 —×— 松本貴子 3段
⊖中尾春菜 初段 内股 木村みのり 3段
前田いずみ 2段 崩上四方固 室谷美紀 3段○

【決勝】

松前柔道クラブ 3 - 0 関西医療学園付属整骨院
○小寺澤佳奈 2段 合わせ技 松本貴子 3段
○寺山 茜 2段 上四方固 木村みのり 3段
○江口 啓 2段 内股 室谷美紀 3段



第54回全日本実業柔道団体対抗大会歓迎レセプション開催

5月29日(土)19時より秋田キャッスルホテルにおいて、第54回全日本実業柔道団体対抗大会歓迎レセプションが盛大に開催された。

当日は、(財)全日本柔道連盟の嘉納会長や秋田商工会議所の社会頭をはじめ、多数のご来賓の方々や、連盟役員、並びに地元関係者など総勢150余名の参加があり、大会の成功を期するにふさわしい盛り上がりを見せた。

山口会長の挨拶に始まり、社会頭の歓迎のご挨拶の後、秋田県教育委員会飯塚教育長の乾杯の音頭で祝宴に入った。

祝宴の中では、日本を代表する民謡歌手の小野花子さんより秋田民謡が披露された。和やかな雰囲気の後には秋田県柔道連盟北林会長の発声による閉会の辞でお開きとなった。



辻 秋田商工会議所会頭のあいさつ



山口会長のあいさつ

「定時総会」開催される

第43回定時総会及び平成16年度理事会は、平成16年5月28日17時30分から秋田キャッスルホテル4F矢留の間で開催され、第1号議案から第5号議案について、満場一致で承認された。

- 第1号議案 平成15年度事業報告
- 第2号議案 平成15年度収入支出決算
- 第3号議案 平成16年度事業計画案
- 第4号議案 平成16年度収入支出予算案
- 第5号議案 平成16年度役員改選

2004年 アテネオリンピック代表選手(当連盟所属)

〔男子〕

60kg級



野村 忠宏
(ミキハウス)

66kg級



内柴 正人
(旭化成)

73kg級



高松 正裕
(旭化成)

81kg級



塘内 将彦
(旭化成)

100kg級



井上 康生
(総合警備保障)

100kg超級



鈴木 桂治
(平成管財)

〔女子〕

48kg級



谷 亮子
(トヨタ自動車)

52kg級



横澤 由貴
(三井住友海上火災保険)

63kg級



谷 本 歩 実
(コマツ)

70kg級



上野 雅 恵
(三井住友海上火災保険)

78kg超級



塚 田 真 希
(総合警備保障)

発行日 2004年7月5日
 発行所 全日本実業柔道連盟
 発行人 事務局長 郷田博史
 取材協力 ジャーナリスト 宮澤正幸
 印刷 ダイコロ株式会社